

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人和楽会 ・代表者名 理事長 清水 完敏 ・住所 川崎市高津区千年141-2	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員64人) 在籍者数 61人(平成30年3月31日現在:入院等不在者を含む) <table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>20</td> <td></td> <td>61</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	2	2	16	21	20		61				
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計													
	利用者数	2	2	16	21	20		61													
	②通所介護事業(通所定員 40人/日) 年間延べ利用者数7,202人:定員に対する稼働率70.3% <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>561</td> <td>672</td> <td>597</td> <td>569</td> <td>600</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>644</td> <td>629</td> <td>585</td> <td>540</td> <td>563</td> <td>635</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	561	672	597	569	600	607	延べ利用者数	644	629	585	540	563
	4月	5月	6月	7月	8月	9月															
延べ利用者数	561	672	597	569	600	607															
延べ利用者数	644	629	585	540	563	635															
③短期入所事業(通所定員 16人) 年間延べ利用者数 5,431人:定員に対する稼働率 92.9% <table border="1"> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>5月</td> <td>6月</td> <td>7月</td> <td>8月</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>474</td> <td>442</td> <td>460</td> <td>449</td> <td>451</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>440</td> <td>430</td> <td>439</td> <td>468</td> <td>468</td> <td>467</td> </tr> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	474	442	460	449	451	443	延べ利用者数	440	430	439	468	468	467
	4月	5月	6月	7月	8月	9月															
延べ利用者数	474	442	460	449	451	443															
延べ利用者数	440	430	439	468	468	467															
収支実績	④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成30年3月分) <table border="1"> <tr> <td>介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>124</td> </tr> </table>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	40	37	21	15	11	0	124				
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計													
	管理者数	40	37	21	15	11	0	124													
	①特別養護老人ホーム事業(③短期入所含む) (収入) (単位:円) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>267,704,512</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>67,241,087</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>753,162</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>335,698,761</td> </tr> </table> (支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>206,576,882</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>64,412,539</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>54,093,532</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>325,082,953</td> </tr> </table> (収支差額) 10,615,808	介護料収入	267,704,512	利用者等利用料収入	67,241,087	その他の事業収入	753,162	合計	335,698,761	人件費	206,576,882	事業費	64,412,539	事務費	54,093,532	合計	325,082,953				
介護料収入	267,704,512																				
利用者等利用料収入	67,241,087																				
その他の事業収入	753,162																				
合計	335,698,761																				
人件費	206,576,882																				
事業費	64,412,539																				
事務費	54,093,532																				
合計	325,082,953																				
②通所介護事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>72,180,816</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>5,826,042</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>212,239</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,219,097</td> </tr> </table> (支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>44,435,757</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>11,457,007</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>7,289,041</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>63,181,805</td> </tr> </table> (収支差額) 15,037,292	介護料収入	72,180,816	利用者等利用料収入	5,826,042	その他の事業収入	212,239	合計	78,219,097	人件費	44,435,757	事業費	11,457,007	事務費	7,289,041	合計	63,181,805					
介護料収入	72,180,816																				
利用者等利用料収入	5,826,042																				
その他の事業収入	212,239																				
合計	78,219,097																				
人件費	44,435,757																				
事業費	11,457,007																				
事務費	7,289,041																				
合計	63,181,805																				
④居宅介護支援事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>23,242,449</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>289,754</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23,532,203</td> </tr> </table> (支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>18,377,840</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>839,466</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>1,581,744</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,799,050</td> </tr> </table> (収支差額) 2,733,153	介護料収入	23,242,449	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	289,754	合計	23,532,203	人件費	18,377,840	事業費	839,466	事務費	1,581,744	合計	20,799,050					
介護料収入	23,242,449																				
利用者等利用料収入	0																				
その他の事業収入	289,754																				
合計	23,532,203																				
人件費	18,377,840																				
事業費	839,466																				
事務費	1,581,744																				
合計	20,799,050																				
(収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>363,127,777</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>73,067,129</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>1,255,155</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>437,450,061</td> </tr> </table> (支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>269,390,479</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>76,709,012</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>62,964,317</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>409,063,808</td> </tr> </table> (収支差額) 28,386,253	介護料収入	363,127,777	利用者等利用料収入	73,067,129	その他の事業収入	1,255,155	合計	437,450,061	人件費	269,390,479	事業費	76,709,012	事務費	62,964,317	合計	409,063,808					
介護料収入	363,127,777																				
利用者等利用料収入	73,067,129																				
その他の事業収入	1,255,155																				
合計	437,450,061																				
人件費	269,390,479																				
事業費	76,709,012																				
事務費	62,964,317																				
合計	409,063,808																				
サービス向上の取組	○人材の確保・育成に対して努力している。市の人材紹介事業に参加して採用に至った方やハローワークを通して県外(北関東)から雇用した新人職員が早く職場に慣れ定着できるよう育成にも注力している。また、職員の努力が公平に評価されるように処遇改善費の分配方法を検討し、夜勤手当の増額を図った。 ○空床を持たないことが地域貢献という認識のもと、短期入所事業で利用者を増加させた。また、通所事業では他事業所での利用に結びつかなかったり途中で断られた困難ケースやサービスニーズの高い利用者を積極的に受け入れて利用者を増加させた。 ○ボランティアとの良好な関係構築に努めている。開所時から「ボランティア活動連絡会」(地区社協が中心)が発足し、様々な活動の支援、協力をいただいている。地域からボランティアを多く受け入れ、ボランティアとともに行事の年間計画を話し合い執行している。年1回ボランティアの方に感謝をする為の交流会を開催している。 ○感染症予防に努めインフルエンザ感染者を出さなかった。																				

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>より重度の方の入所を受入れ、看取り介護に関する指針等も年度ごと更新を重ねて体制の整備に努めている。 毎年、川崎市老人福祉施設事業協会主催の囲碁・将棋・オセロ大会に参加し、町内会のお祭り、日吉出張所におけるコンサート等、積極的に入居者の外出の機会を作っている。 広報紙「夢ほのぼのニュース」を通して、家族に利用者の施設での生活の様子を伝えるほか、施設紹介のパンフレットを作成し、家族をはじめ地域のボランティア等該当者に随時配布して施設への理解の周知に努めた。 満足度調査や家族会(年2回)の際にアンケート調査を行い、ニーズの把握に努めるほか、介護保険制度の改正時等は、臨時家族会を開き、改正内容や注意点について利用者ご家族の方の理解促進を図っている。 地域に開かれた施設としての役割遂行に努めている。居宅介護支援センター、地域包括支援センター職員が中心となり、施設の地域交流室を用い近隣の方の体操教室を開催したり、地域のケアマネジャーの交流の場を作った。また、災害時は地域の二次避難所として、備蓄品の購入や、東日本大震災に遭った3月を夢見ヶ崎防災月として炊出し訓練他、夢見ヶ崎町内会と合同防災訓練も実施している。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>経費削減に向けた取組を積極的に行った。オムツ、パットなど消耗品の見直しを行ない、次年度からは月6万円程度の節約ができる予定。清拭布を紙製のタオル(肌触りが良い、汚れを清潔にしやすい)に変更することで入居者・利用者の処遇向上、清拭布の準備・処理に係る職員の労力と費用削減につなげる予定。 収入増加に向けた取組として入院者を出さないよう感染症対策、健康チェックと職員の情報の共有に努めた。さらに全職員が空床を持たないことが地域貢献のひとつであるという意識を持つこととし、ケアマネジャーとの連携強化、緊急一時入所の積極的受け入れに努めた。 デイサービスでは朝、夕の時間に特化した職員を雇用して、きめ細やかな送迎の対応や職員が手薄になる時間帯の見守り強化を進めている。 施設会計については、外部の会計事務所に委託し、毎月点検を実施している。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
<p>(評価の理由)</p> <p>初任者研修の講師として4名を派遣した。 地域サービス利用支援担当を配置しサービスの利用促進と欠員解消に努めている。 サービスの質の向上にむけ職員個々がスキルアップするよう、介護福祉士取得や、認知症介護実践者研修受講を奨励している。 月1回の運営会議において、現状分析、課題把握、改善策検討を行い、3か月に1度、夢見ヶ崎合同会議を開催し事業(部署)間の情報共有、連携強化や他部署からの評価、助言を得て業務の改善に努めている。 満足度調査の実施、年2回の家族会の開催の際に行うアンケートにより、ニーズの把握を行っている。介護保険の改定時には、臨時家族会を開き、どのような変更となるのか、負担がどのように変わるのかを説明し、利用者ご家族の方にご理解を得る等、施設に入った情報は速やかに知らせることを旨とした。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	5	4	4
	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)				
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。	5	4	4
		法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
		個人情報の管理は適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>看取り、重度化への対応のため介護職員、看護師の手厚い配置、地域交流促進のためボランティア担当を置いている。法人全体として、働きやすい職場づくり、職員間の良好な人間関係づくりの一環として職員誰もが発案できる「健康増進企画」(費用の一部は法人負担、今年度はバスケットボール大会、ハーブ駅伝参加など)、親睦会による旅行、観劇、新入職員歓迎会、暑気払い、忘年会などで職員のモチベーションアップを図っている。また、給与等については年齢・経験・在職年数・資格・役職を基本としつつも、処遇改善費の分配率を変更し、夜勤手当を増額し勤務に対し評価をする仕組みを作った。個人のスキルアップに対する意欲を評価し、基本的には研修等参加の希望には極力応え、研修参加、資格取得に係る費用の法人負担を行っている(規定あり)さらに現在、定年の延長(60才から65才へ延長)、中間管理層に対する手当の拡充の準備をしている。</p> <p>施設内の事故については、施設独自基準を設定し微小な内出血等についても報告を義務付け、検証を徹底している。ヒヤリハット、事故報告書に上がったケースは、すべて原因、対策を検討し、情報共有と関係者への周知を行っている。職員の安全管理への理解不足について、新人職員への再教育に対するフォローアップ体制を整えている。</p> <p>個人情報の取扱いについては、職員のみならず、委託事業者等についても個人情報に関する誓約書の提出の義務付けを行っている。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>施設及び設備の維持・管理については設備の長寿命化に配慮して、業務委託業者との連携を密にして、早め早めの調整・対応を心がけ、大きな不具合の発生を未然に防いでいる。</p> <p>常に施設内の衛生、美化、整理・整頓を心がけており、家族やボランティアの方々、地域の事業所等の来館者から好評評価を得ている。</p> <p>防犯等に関しては、警備を委託し、定時見回り、夜間警備を実施し、犯罪等の外部脅威への対策だけでなく、施設内で起こる失火や利用者の急な容態の悪化等の突発的な事故の発見につながるよう努めている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度より開始された総合事業に対し積極的な受け入れを行った。その中で総合事業対象者にサービスを提供するというだけでなく、その方の心身・生活状況等を考慮し、趣味等を活かしたボランティアとして事業所に来ていただくなど、その方の尊厳や生活の質に重きを置いた目に見えない自然な形で支援を行ったことは評価に値する。(一例が「様々な社会参加の形」で川崎市のホームページに掲載された)

年度当初に退職者が出て職員が減少しながらもサービス提供内容の質を落とさない努力を重ね短期入所事業、通所事業、居宅介護支援事業の利用者を増加させたことを評価する。今後も新たな介護人材の育成、確保に努めながら引き続き地域貢献していただくことを期待する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし